

平丸

平丸なるは名も平
凡なる人物の提
平丸なる心を試
是れ平丸といふに
何のふいふ識りあり
といふ評でこれ極
小あとの所い何
ふしと丸なる者

回末

平丸
格下





二葉亭四迷書簡 滋川玄耳記



特別
文庫14
C140

二葉亭四迷手東

洗川玄耳宛て『平丸』題名に關し作者の心境を
述べたるもの、四迷研究の貴重なる資料の一なり

本間久生





高見
 新時
 浩新
 川新
 玄北
 耳北
 本丸

十
端

本
湖
西
月
旬
七
日
長
江
商
行
啟